

令和8年5月号

「ふくすいき ~福水企~」通信



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき~福水企~」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

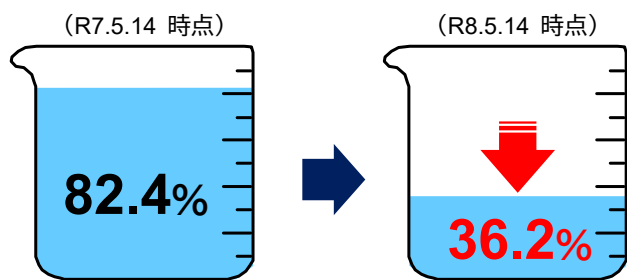
●さらなる『節水』についてのお願い

福岡地区水道企業団の主な水源である筑後川では、2月末以降の降雨により、ダム貯留水は若干回復したものの、貯水率は36.2%程度であり、依然として厳しい状態が続いています。

福岡地区水道企業団では、筑後川の流況に応じて取水を行うなど、引き続き、貯留水の温存に努めています。

福岡都市圏の皆さまには、このような状況をご理解いただき、限りある水資源を守るため、日常生活の中でのさらなる節水にご理解とご協力をお願いいたします。

<筑後川水系ダム貯水率の比較>



昨年度同時期よりも貯水率が大幅に低下

身近な節水を お願いします！

洗たく

- ・まとめ洗いで
- ・ためすぎを中心に
- ・ふるの残り水を使う



企業団キャラクター
ピュータくん

1日の節水
約 80ℓ

食器洗い

- ・じゃ口はこまめに開け閉めを
- ・ため洗いで
- (油污れのひどい食器は紙などでふき取って)

1日の節水
約 100ℓ

お風呂

- ・お湯を入れすぎない
- ・わかしすぎない
- ・シャワーはこまめに使用する
- ・入浴後の残り水は
洗濯、ふき掃除、散水に

1日の節水
約 210ℓ

洗車

- ・お風呂の残り水で
- ・バケツにくんだ水を使う
(ホースで水をかけっ
放しにしない)



水は大切に
使いましょう。

福岡地区水道企業団

(参考)

○水源状況 → <https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>

○家庭での節水(福岡市水道局) → <https://www.city.fukuoka.lg.jp/mizu/somu/0051.html>

●九州地区水道企業団協議会第41回総会【出席しました】〔4/23（木）・24（金）〕

4月23日に筑紫野市内で九州地区水道企業団協議会総会（開催地事務局：山神水道企業団）が開催され、九州地区の14団体から計50名が出席されました。当企業団からは、同協議会会長である名古屋 泰之 企業長のほか、職員3名が出席しました。



総会

総会では、令和7年度の決算、令和8年度の予算や会員提出問題などが審議されました。

総会後には、筑紫野市教育委員会の 小鹿野 亮 氏による講演『筑紫野と文化観光～地域の文化的魅力を伝える～』が行われました。

また、翌24日には、福岡導水施設地震対策事業の工事現場や山口調整池等を視察しました。

<企画調整課 河野>

●「みらい建設フェスタ2026」【参加しました】〔5/9（土）・10（日）福岡市役所西側ふれあい広場〕

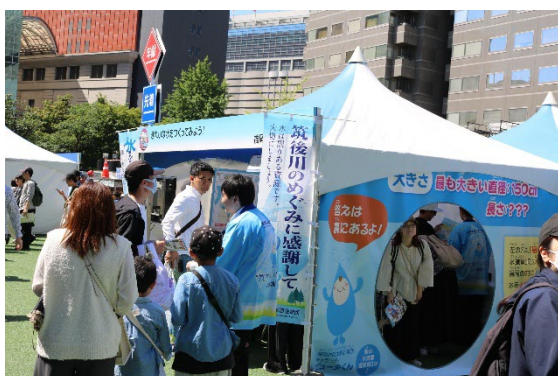
官民一体となって都市インフラの役割や建設業の魅力等を発信し、建設の仕事を見て、触れて、楽しみながら学べるイベント『みらい建設フェスタ』（主催：福岡市道路下水道局）に出展しました。



会場全体

当企業団は、濁った水をきれいな水にする『ろ過実験』を行いました。2日間で約300名の親子等が参加し、「きれいな水を作るのはたいへんだと思った」、「どうやって水がきれいになっているかわかった」などの感想が寄せられました。さらに今回は、筑後川の水を福岡都市圏へ運んでいる『福岡導水管』の大きさを体感できる新展示『水のトンネル』を常設しました。トンネルを通り抜けた親子からは「こんなに大きい水道管があるなんて知らなかった」、「大きさを体感できて、親の私も勉強になりました」といった声も聞かれました。

このほかにも、建設現場見学ツアーや重機の試乗体験など、さまざまな仕事体験コーナー、ステージイベント、キッチンカーの出店など多彩な催しが行われました。子どもから大人まで一日を通して楽しめる内容となり、会場は終始にぎわいに包まれていました。



水のトンネル



ろ過実験をする子どもたち

●第 68 回水道週間の取り組みについて〔6/1(月)～6/7(日)〕

第 68 回 **水道週間**〔令和8年6月1日(月)～6月7日(日)〕

水道週間スローガン「たいせつな 水道守ろう 未来へと」

水道週間は、国土交通省、環境省、都道府県、水道事業者等によって実施される様々な広報活動等の運動を通して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取り組みについて協力を得ることを目的として毎年実施されています。

当企業団では、啓発活動の一環として自動車へのステッカー貼付やのぼりの掲示等を予定しています。その他、各構成団体でも、水道週間に様々な取り組みが予定されています。

来月号では、構成団体の取り組みの様子をレポートする予定です。

《昨年度の様子》



春日那珂川水道企業団による利き水体験



太宰府市役所の市民ギャラリー

<総務課 楊>

■水源地域との交流事業

実施レポート

●第 59 回津江山系釈迦連峰山開き【参加しました】〔4/26(日)大分県日田市前津江町〕

日田市前津江村のスノーピーク奥日田キャンプフィールド・椿ドームにて、『第 59 回津江山系釈迦連峰山開き』

が山祭会議さんさいの主催により開催されました。この行事は、奥日田の登山シーズン開幕を告げるとともに、清らかな水を育む山の恵みに感謝し、一年の安全を祈願するもので、

地元住民をはじめ、むくのみちこ 椋野美智子 日田市長、大分県議会議員、日田市議会議長のほか、登山者など多くの方々が来場され、当企業団からも名古屋企業長及び職員 2 名が参加しました。



神事

山の安全を祈願する神事の式典では、玉串奉てんが厳粛に行われ、続いて名古屋企業長の先導によ

り、参列者一同で万歳三唱が高らかに唱和されました。

他にも、餅まきや藤蔭^{とういん}高等学校吹奏楽部の演奏、お楽しみ抽選会などが催され、屋外では地元野菜や、地鶏焼き、まんじゅうなどの販売もあり、会場は終始活気にあふれていました。

当日はあいにくの雨模様で霧が立ち込める時間帯もありましたが、標高約 1,000mの奥日田ならではの気温差や山間部特有の変わりやすい天候を感じる一日となり、水源地を潤し、渇水の不安を和らげる恵みの雨となりました。



企業長による万歳三唱



餅まき

5月、6月の予定【開催されます】

●令和8年度江川水源祭【参加します】〔6/6（土）朝倉市江川ダム〕

朝倉市の江川ダムにおいて、『江川水源祭』が開催されます。

江川ダムは、福岡都市圏を支える重要な水源のひとつです。江川水源祭は、江川ダムでの取水開始翌年にあたる1973年（昭和48年）から続く行事で、今年で53回目を迎えます。

当日は、朝倉市長をはじめ、当企業団及び水道関係機関の代表者などが出席し、ダムの建設から運用に至るまでご尽力いただいた皆さまへの感謝を表するとともに、施設の安全と今年の豊水を祈念します。

あわせて、昨年から続く少雨による渇水が落ち着くことも祈りながらの開催となります。

日 程 令和8年6月6日（土）

開催場所 江川ダム堤体（朝倉市上秋月町大字江川）

主 催 江川水源祭実行委員会（朝倉市、両筑土地改良区、福岡市水道局、独立行政法人水資源機構、福岡地区水道企業団）



貯水率約 38%の江川ダム（令和 8 年 5 月 7 日時点）
（水資源機構より提供）



清酒注ぎ（昨年の様子）

■ 水資源機構だより

● JRウォーキングで福岡導水をPRしました

令和 8 年 4 月 25 日（土）に開催された J R 九州ウォーキングにおいて、福岡都市圏の方を中心に、ご家族連れ、ご夫婦、お友達同士など、約 700 人の方々が参加されました。

このウォーキングのコースの一部に選定された福岡導水施設の そのべせつごうせい 園部 接合 井 地点では、福岡導水のパネル展示や手作り缶バッチの配布などを行いました。

パネルをご覧になられた方からは、筑後川の水を福岡都市圏へ運んでいる福岡導水や、きやま 基山 浄水場（佐賀東部水道企業団）、うしくび 牛頸 浄水場（福岡地区水道企業団）に関すること、さらに、自分が住んでいる場所と浄水場の供給エリアの関係、濁水の状況や節水のことなど、たくさんの質問をいただき直接お話しする貴重な機会となりました。

また、福岡導水や関係する水道企業団の浄水場の働きとともに、筑後川の恵みへの感謝の言葉をいただき、私たちの仕事に責任と喜びを感じる一日となりました。

ウォーキングコースは大行列でしたが、春の穏やかな一日を満喫されていました。



ウォーキング



パネル展示

■ 水源地域の主なイベント 【お出かけください】

5月、6月の予定

やまだげき

● 山田堰 通水式〔6/17（水）朝倉市水神社〕

（朝倉市から情報提供いただきました）

山田堰通水式は、地域の農業を支える水の恵みに感謝し、日本最古の実働する水車『朝倉の揚水車群』を稼働させるために行われる神事です。毎年6月17日、山田堰に祀られている水神社境内下の水門が開かれ、農業用水の供給が本格的に始まります。

山田堰は、筑後川から取水し、堀川用水を通じて約652haもの農地を潤す『かんがい施設』です。日本で唯一

の『傾斜堰 床式石張堰』と呼ばれる構造で、川の流

れに対して斜めに築かれていることが特徴です。筑後川

の水圧と激流に耐えるための工夫が施されており、現在もその役割を果たし続けています。ここから導かれた水は堀川用水を流れ、15分ほどで約2km先にある『朝倉の揚水車群』へと到達します。

『朝倉の揚水車群』は、菱野の三連水車、三島の二連水車、久重の二連水車の計7基で、堀川用水と共に国の史跡に指定されました。200年以上にわたり地域の田畑を潤し続けてきたその姿は、今もなお力強く回転し、水を高い位置へ汲み上げる貴重な文化遺産です。

通水式を迎えることで、揚水車群へ水が届き、10月上旬まで続く農業用水の供給が始まります。地域にとって、豊かな実りの季節の幕開けを告げる大切な節目となっています。

水神社で行われる山田堰通水式は、どなたでも見学できます。ぜひお越しください。



山田堰



三連水車

日時	令和8年6月17日(水)9:30～(予定)
開催場所	水神社（朝倉市山田 161）
問い合わせ先	山田堰土地改良区 TEL 0946-52-0531

水源情報

企業団ホームページの水源情報(<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>)は、毎日（土日祝を除く）最新情報に更新しています。

アドレスをクリックすると『水源情報』が載っています。見てね！！



ホームページ画面

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、ご感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！
よろしくお願ひします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS [X (旧 Twitter)、Facebook、Instagram] を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすく情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ SNS の機能 (リツイートやシェアなど) を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団の電子広報媒体 (ふくすいき除く)		二次元コード
企業団ホームページ [アドレス] https://www.f-suiki.or.jp/		
SNS	X (旧 Twitter)	
	Facebook	
	YouTube	
	Instagram	